

校長室の窓から

No.16

平成 24年 12月 25日
尼崎市立武庫東中学校
校長 小谷 豪 郎

いよいよ冬休みです！

今年の冬休みは昨年と違い終業式が連休明け、そして来年から始業式が例年の8日から7日へと冬休みが1日短縮されます、ということで今年は実質12日間しかありません。昨年は終業式が連休の前で始業式も連休の後ということで18日間もあったので大きな違いがあります。



先日、阪神尼崎のニューアルカイクホテルに行く機会がありました。するとホテルの前庭の芝生広場に普段は気がつかなかった樹木にイルミネーションが施され見事なクリスマスツリーになっていました。神戸ではルミナリエ、大阪でも御堂筋や中之島公園等々冬の風物詩とも言えるのでしょうか、美しいイルミネーションに飾られて町中が光り輝いています。また、個人の住宅でも家中にイルミネーションを飾り付けクリスマスツリーのようにしているお家もたまに見かけます。皆さんのお家はいかがですか。

学校にも可愛いクリスマスツリーが飾られていることをご存じですか？ このような季節の行事、風物詩は大事にしていきたいですね。これからも日本の季節の行事などについても機会があれば触れていきたいと思っております。

クリスマスに大晦日、お正月の初詣にお年玉等々楽しみがたくさん待っている冬休みです、特に3年生にとっては貴重な期間です、いつも以上に時間を大切に有意義な冬休みにして下さい。



今月のことば 「初詣はイベントや遊びじゃない、本気で行け！」

初詣は行くべきです。行って賽銭を投げて拝むのです。それもかなり本気で拝むのです。向こう側に神様はいないのですが、やはり心の中にいるのです。ですから、初詣とは、自分に対する決意表明なんです。できるだけ強く、己の心にしみ渡るまで、本気で念じるのです。決意をするなら、初詣が効果的なんです。自分自身を洗脳するために。そして、毎日手を合わせ、己に決意をして下さい。やがてそれは、自分の中で当たり前のことに変化し、実現の可能性は、当然高まるのです。強い決意が、自分の中の自分を変化させてくれるのです。その変化が、夢を叶えるエネルギーとなるのです。

正月の風物詩

皆さんのお家はお正月に向けてどのような準備をするのでしょうか、武庫地区は尼崎の中でも昔からの住民が多く、様々な風習も現在まで引き継がれている方だと思います。

先生の家は、転勤族で父親の仕事の関係で6～7回引っ越しをしました。しかし、父も母も田舎の人間でしたので昔ながらの風習などを大事にして家でいろんなことに取り組んできました。年末には大掃除をして障子や襖を張り替えるとか、正月に向けて餅つきをして家族皆で餅を丸めたり、父親が山から竹や松などを切り出してきて門松を作ったりしていました。

しかし、両親も歳をとってきたのと子どもが独立して家を離れていったりで徐々にこういった取組も縮小されてきました。今ではお餅など機械でいつでもすぐにできあがります。門松などの大きな物から簡単なしめ縄へと変わっていき少し寂しいような気がします。仕方がないことです。

皆さんのお家ではどんなことが続けられているのでしょうか。

《門松》

正月飾りのように思われていますが、歳神を家に迎え入れるための目印だったそうです。神霊が下界に降りてくる時の目標物とされていました。

《しめ縄》

これは、内外の境界または出入り禁止のしるしに引き渡す縄で、神前や神事を行う場所にこれを張り清浄な区域であることを示し、新年に戸口に張るときは、災いをもたらす神や不浄なものが内に入らないようにという意味が込められています。

《鏡餅》

昔女性が、古代の丸い鏡の前に餅をお供えしたことから呼ばれるようになり、普通は床の間に飾るか床の間がなければ玄関の下駄箱の上でも構わない。ウラジロやユズリハを敷いて大小2個の丸餅をのせ上の餅から昆布を前に下げその上に橙を乗せます。伊勢エビをのせたり、串柿をのせたりするとさらに豪華になります。

《おせち料理》

昔は、節句に作る料理のことを指し節句とは1月1日、3月3日、5月5日、7月7日、9月9日の5回の節句に用いる料理のことでしたが、今ではお正月料理だけが「おせち料理」と呼ばれるようになりました。これは正月におせち料理があると家庭の主婦も台所仕事から解放されて、休養できるという意味合いがあったそうです。

年がら年中働きづめのお母さんに感謝して、ゆっくりと休んでもらいましょう。

《お屠蘇》おとそ

お正月三が日の間に飲む薬酒のことで、一年の邪気を払い、寿命を延ばすという中国の伝説に基づき不老不死を祈る新年の祝い酒のことで、中身は山椒・防風・桔梗・細辛・・・というような漢方薬を調合して絹の袋に入れて酒またはみりんに浸して作るのです。決しておいしくはありません。

《お雑煮》《七草がゆ》《鏡開き》《小正月》《どんど焼き》まだまだたくさんあります。

体に気をつけて、1月7日(月)が始業式です